

桜が丘学園道徳教育研究会 研究構想

桜が丘学園の目指す生徒の姿

- (1) 自分で考え判断し、責任ある行動のとれる生徒
- (2) 主体的に集団や社会に関わり、社会に役立つ生き方を目指す生徒

桜が丘学園の重点指導項目

自主自律・勤労

研究主題

「やる気」「やさしさ」「たくましさ」をもった子どもの育成 ～確かな道徳性を育む道徳教育の推進～

仮説

(1) 道徳教育の要となる道徳の時間の充実

ねらいに迫るために、資料や発問を吟味し、子どもたちが自分と向き合い、自己の生き方について考えを深める道徳の時間を積み重ねることで、子どもの道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度（道徳的実践力）を育成することができるだろう。

(2) 縦の接続・横の連携を意識した道徳教育の推進

小中9か年を見通した発達段階に応じた指導をし、各教科等・総合的な学習の時間及び特別活動、課外活動等との関連を図り、活動の場を家庭や地域にも求めることで、子どもたちの道徳性が高まるだろう。

基盤となる教師力

道徳の時間と関連のある活動を結びつけ、道徳教育を創造して取り組む力

研究組織と研究の柱

学びづくり部

- 1 「桜が丘学園道徳授業の基本」の作成と活用
- 2 別業1・2を基にした効果的な実践と見直し
- 3 ねらいに迫る資料と発問の吟味
- 4 多様な考え方を整理する構造的な板書の検討
- 5 「かけがわ道徳」の推進

心づくり部

- 1 道徳的実践の場「積小活動」
- 2 家庭・地域との連携
 - 「お茶の間ふれあいデー」
 - 「わたしたちの道徳」の活用
 - 親子道徳会
- 3 e-じゃん掛川による情報発信
- 4 道徳的習慣・行為の指導